



笹中だより

伊丹市立笹原中学校学校通信第8号
平29年10月10日
編集責任者 校長 太田洋子

★「全国学力・学習状況調査」等の結果についてお知らせします

生徒の学力の状況を把握し、これからの教育方針の決定に役立てるため、また、結果を個票として、生徒たちに返し、自らの学力の実態をつかむために、**中学校3年生**を対象に、**4月18日(火)**に国語と数学について「全国学力・学習状況調査」、**4月21日(金)**に理科・社会・英語について「伊丹市学習到達度調査」が行われました。速報結果についてはすでにお知らせしています。

本校の職員で夏季休業中に詳細に結果を分析し、各教科での課題とその改善策について話し合いました。これからの、授業改善に活かし、生徒の学力向上に努めます。

各ご家庭でも、家庭学習について子どもたちへの働きかけをお願いいたします。学校と家庭の共通理解のもと、協力して笹原中学校の生徒の学力向上に取り組みましょう。

全国学力調査(国語・数学)とはどんな調査でしょうか?

国語、数学ともA問題とB問題の2種類の調査があります。

- A: 主として知識に関する問題 → 数学では計算や数量関係、図形などの性質
国語では基本的な読解や漢字、語句の意味など
- B: 主として活用に関する問題 → 数学では、実生活の場面で活用する力を見る問題
国語では自分の考えをまとめる記述式問題など

今年度の全国学力調査(国語・数学)の平均正答率

	国語A	国語B	数学A	数学B
笹原中学校	78	73	63	48
全国	77.4	72.2	64.6	48.1
全国比	0.6	0.8	△ 1.6	△ 0.1

今年度の伊丹市学習到達度調査(社会・理科・英語)の平均正答率

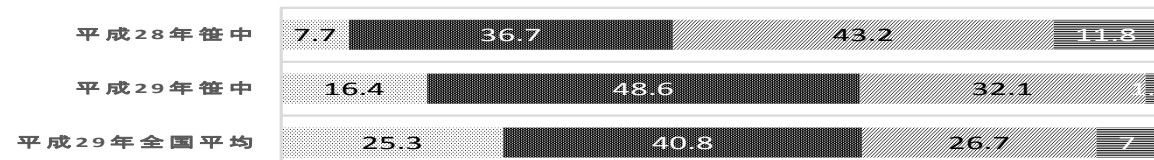
平成29年度	社会	理科	英語
笹原中学校	66	48.6	53.3
全国	61.5	52.4	55.7
全国比	4.5	△ 3.8	△ 2.4

- 国語と社会で全国平均を上回りました。他の教科も全国平均との差が徐々に縮まっています。
- 笹トレや習熟度別学習などの取り組みの効果が表れてきていると捉えています。今後もさらにこれらの取り組みを充実させていきます。

今年度の学習状況調査の結果から

授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていたか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない



授業での振り返りを行う活動が年々数値が伸びてきています。ただ、朝食を毎日食べている生徒の割合や、復習を行っている生徒の割合は全国平均と比較してかなり低くなっており、家庭での生活習慣や学習習慣を着実につけていく必要があります。

このような結果を受けて、以下のような改善に全教科で取り組みます!

【平成29年度学力向上の具体策】

- ① 学習規律の徹底 チャイム席・私語ゼロ・忘れ物ゼロの徹底・正しい姿勢の徹底(10月から強化月間で徹底する)
- ② ICTの活用推進と設備の充実
- ③ 授業のユニバーサルデザイン化の一層の推進
- ④ 学力調査の分析に基づく学習指導の実施とねらいを明確にし、振り返りを行う学習活動の徹底(流れのパターン化と振り返りの徹底)
- ⑤ チーム学習や教え合い学習など指導形態の工夫(話し合いの手法の統一)
- ⑥ ノート指導の徹底と板書・発問の工夫
- ⑦ 2, 3年生の数学、3年生英語での習熟度別学習の実施
- ⑧ 数学の全学年教え合い学習「笹トレ」(月曜7校時)による学力定着
- ⑨ 放課後学習(水曜)3年生英数、1, 2年生数学
- ⑩ 土曜学習の充実
- ⑪ 家庭学習の習慣化(毎日・週末)
- ⑫ 英検等の検定取得の推奨
- ⑬ 学校図書館の活用と読書量の増加
- ⑭ 笹手帳の活用による生活習慣(朝食・学習等)の改善
- ⑮ コミュニティ・スクールによる地域、家庭との連携強化



今年度からスタートした毎週月曜日7校時の笹トレの様子です。3年生は1年生と2年生、2年生は1年生の教室で、笹トレティーチャーとして下級生に一生懸命数学を教えています。教えてもらった生徒たちからは「先輩がわかりやすく教えてくれる」「わからないところがわかるようになった」と好評です。教える上級生も、教えることで知識が定着するので、双方にメリットが出てきています。